

ネットワークの最適化・安定稼働を実現するネットワーク基盤管理 Systemwalker Network Manager

製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/netmgr/index.html>

Systemwalker Network Managerは、企業情報システムの大規模化・複雑化に伴って顕在する各種の課題解決の手段として、サーバやネットワーク機器で構成されるITシステムにおけるネットワークの「安定した通信」、「業務の連続性」、「運用管理の簡易化・効率化」を実現するための製品です。

ネットワーク構成の的確な把握と可視化

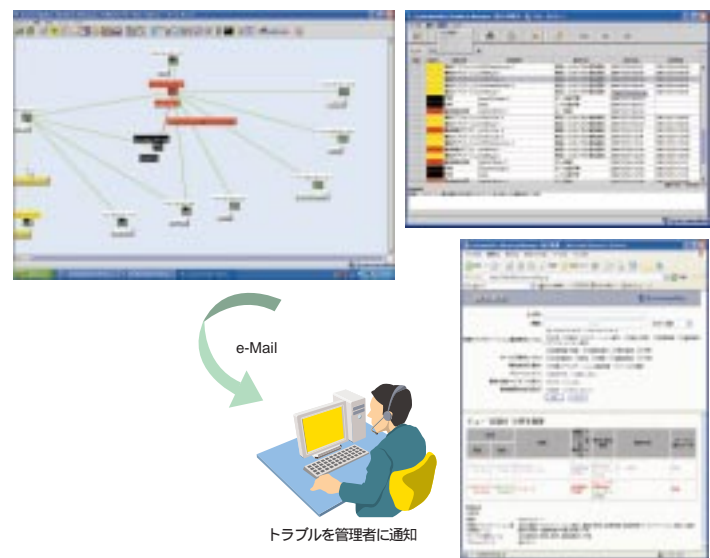
ネットワーク構成情報収集により、システムを構築するルータ、スイッチ、サーバなどのネットワークの物理的な接続状態を把握し、グラフィカルに監視します。定期的なネットワーク構成情報収集で、冗長構成を用いたような複雑なネットワークでも、監視対象ネットワークの構成変更を検出できます。

障害箇所の迅速な特定と対処

ネットワークノード障害、ポート障害、リンク障害や、VLAN障害、IP通信異常などをトポロジーマップ上で統合して管理可能です。発生した障害による業務への影響範囲をマップ上で一目で確認でき、障害検知から復旧までにかかる手間と時間を軽減します。

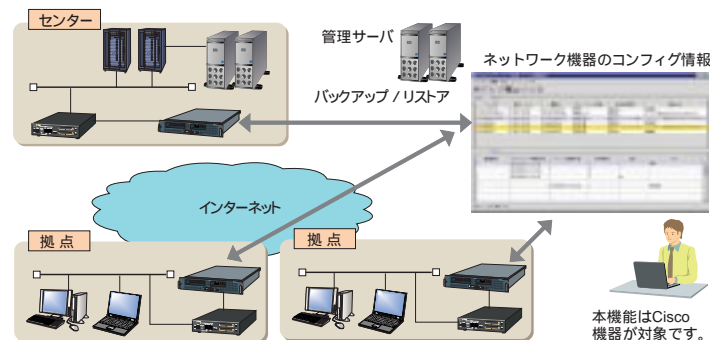
異常を検知した場合に、メールで通知できますので、管理者は常時画面を監視している必要はありません。

検知した異常に基づき、問題箇所をネットワークから切り離すなどのネットワーク制御アクションが可能です。



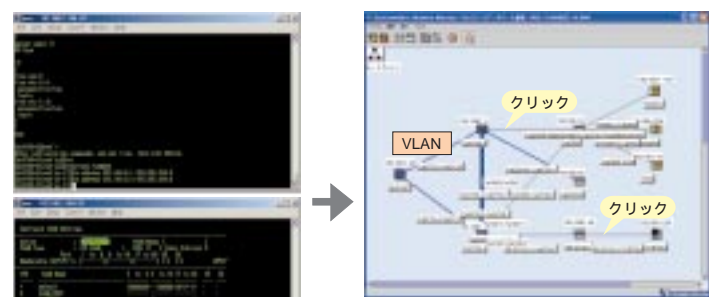
コンフィグ管理

ルータやスイッチのコンフィグを、運用管理サーバ上にバックアップし世代管理できます。バックアップ時には差分チェックもできます。保管されたコンフィグは、機器故障復旧 / 機器交換時にリストアすることができ、再設定作業が容易で確実に行えます。



VLAN管理

VLANの経路設定や変更は、トポロジーマップ上でVLAN経路となるリンクをマウスクリックするだけで、VLAN経路表示、経路設定・変更・削除が可能です。VLAN-IDごとのVLANの経路と構成機器が、マップ上で一目瞭然。例えば、組織変更時のVLAN設定変更の際にも柔軟に対応でき、ネットワークセキュリティ確保が簡単にできるようになります。

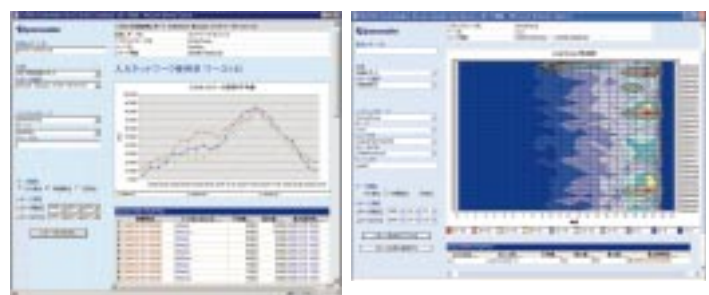


装置ごとにいくつものコマンド入力が大変... → リンクのマウスクリックだけで簡単・確実！

ネットワーク稼働状況の的確な把握

ネットワークトラフィックやセンター・サイト間のIPLスポンズ時間など、ネットワークの稼働状況を監視、情報収集、蓄積できます。レスポンス時間などあらかじめ設定されたしきい値を超えた場合は、アラームを発生させて異常を知らせます。収集した情報は分析表示することができ、サーバ・ストレージと合わせて、ネットワークのサービス品質を一元的に把握することができます。

Systemwalker Service Quality Coordinatorと連携した機能です。



動作環境

Solaris版 【OS】	
運用管理サーバ	日本語Solaris 10 日本語Solaris 9 日本語Solaris 8
運用管理クライアント	Windows * XP Professional Windows * 2000 Professional
Linux版 【OS】	
運用管理サーバ	Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86) Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
運用管理クライアント	Windows * XP Professional Windows * 2000 Professional

ネットワーク管理製品 型名 / 価格一覧 P141

業務の安定稼働を効率よく実現する統合運用管理 Systemwalker Centric Manager

製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/centricmgr/index.html>

Systemwalker Centric Managerは、業務運用管理において必要不可欠な機能を提供します。ソフトウェア資源の配付、システムやネットワークの集中監視、リモートからのトラブル復旧などの機能により、運用コスト(TCO)を削減し、システムの安定稼働を実現します。また、Systemwalker Centric Managerは、ワークグループから超大規模な環境まで、きめ細かに対応しています。

業務のライフサイクルをトータルに管理

企業システムを適切に維持・管理する上で必要となるソリューションを提供します。デプロイメント、モニタリング、リカバリー、アセスメントといった企業システムを維持していくためのライフサイクルに従って、ビジネス環境を統合管理し一連の運用管理の操作をシームレスに行えます。

また、監視は、監視対象のサーバや機器をツリー構造で管理し、分かりやすいアイコンで表現しているため大規模なシステムでも容易に監視 / 操作ができます。

デプロイメント[導入 / 設定]

サーバまたはクライアントで使用するアプリケーションやデータなどの資源を一元管理し、対象のサーバやクライアントにオンラインで配付することができます。

また、サーバ / クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、すでにインストールされているソフトウェアの情報を、インベントリ情報として収集し参照することができます。

モニタリング[監視]

ネットワークやシステム、アプリケーションの稼働状況、障害発生、性能状況をGUIを使用した画面で集中的に監視できます。イベントログ・SNMPトラップ・指定のログファイルなど出力されたメッセージを運用管理サーバで集中管理します。

異常が発生した場合、重要度に応じて音声でも通知したり、夜間発生したトラブルはメールで担当者へ通知するなど、メッセージの内容や管理者の行動パターンに合わせて、通知方法を複数組み合わせることができます。

【ノード状態の表示 / 監視】

- 各ノードの稼働 / 停止などの状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 各ノードの状態変化(停止状態への遷移 / 起動状態への遷移)を集中監視
- IPv6に対応したノードも監視

【アプリケーションの稼働状態表示 / 監視】

- アプリケーション(常駐プロセス、Interstageの業務(EJB、CORBA、Servletなど))の稼働 / 停止状態を監視画面に色で表示
- 一定間隔ごとのポーリングにより監視
- 設定した稼働条件(ポリシー)どおりに稼働していない場合に管理者に通知



リカバリー[復旧]

リモートから診断したり、蓄積したノウハウを利用したオペレータ操作のナビゲート機能により、運用中にネットワークやシステムで発生するさまざまな障害の復旧作業を効率的に行うことができます。

あらかじめ対処コマンドを登録した自動対処、遠隔地のサーバへのコマンド発行による対処、さらには管理者のパソコンから遠隔地のパソコンへのリモートコントロールによる対処など、復旧時間の短縮化や効率化が図れます。

アセスメント[評価]

収集 / 蓄積された性能情報や障害発生情報を基に現状分析 / 評価が可能です。システムやネットワーク、業務に対して無駄なリソースを減らし、効率的な設備投資、適切な増設 / 移設計画、潜在的な問題の早期発見などにフィードバックが可能です。

【ネットワークの評価】

サーバ、ネットワーク機器、RMONなどから収集 / 蓄積されたネットワーク性能のレポートを基に、ネットワークの分析 / 評価が可能です。



「ノード中心マップ」による回線使用率の表示

富士通製ネットワーク機器をオールインワンで管理 Systemwalker Network Assist

製品情報 : http://systemwalker.fujitsu.com/jp/net_assist/index.html

Systemwalker Network Assistは、富士通製ネットワーク機器の管理・監視を行うWebベースの管理ソフトウェアです。富士通製ネットワーク機器の構成情報や状態監視、障害監視、統計情報などを任意のクライアントからWebブラウザを使用して把握することができます。

装置ビューによる詳細な監視

Webブラウザで装置の状態を忠実に再現したイメージを表示して、装置やインターフェースの状態をグラフィカルに把握できます。



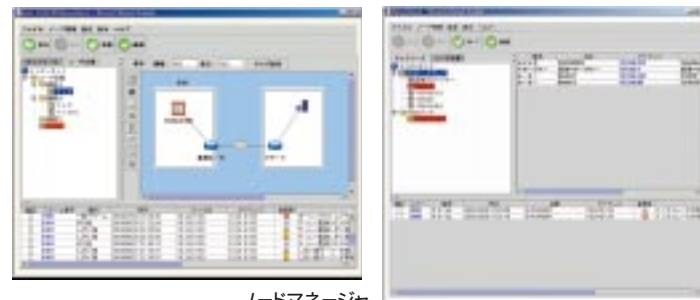
ノードビュー (SR-S716C2) ノードビュー (IPCOM EX2000 LB)

GS / PRIMEFORCEシリーズのLANアダプタ(ONAなど)から、富士通製ネットワーク機器(IPCOMシリーズ、Si-Rシリーズ、SR-シリーズなど)、FDDIネットワークまでの集中監視を一台のサーバで実現します。(2008年4月時点で200機種におよぶ富士通製ネットワーク機器をサポート)

専用サイトから追加モジュールをダウンロードし、監視サーバへ組み込むだけで、最新機器の監視が即時可能ですので、バージョンアップ製品を購入しインストールする費用や手間が不要です。

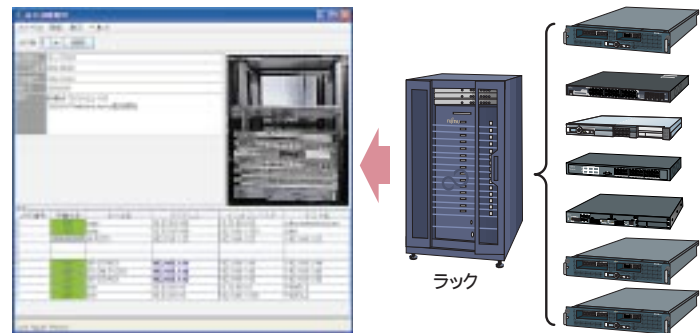
ネットワーク機器のグルーピング

監視対象機器を、お客様自身でサブネットやフロアといった単位で自由にグルーピングして表示することが可能です。



ノードマネージャ

また、ラックに搭載されるネットワーク接続機器に対してping / ping6による各インターフェースの稼働監視が可能です。これにより、監視対象ネットワーク機器に加えてサーバなどSNMP未実装のネットワーク接続機器まで含めた稼働・状態変化をラック単位で管理・把握することができます。



ラックビュー

ネットワーク機器やサーバ群

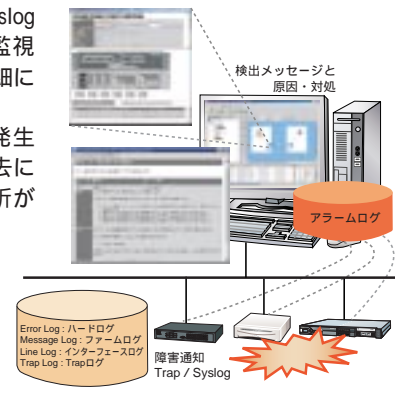
装置のシスログの収集・表示と障害監視

SNMPトラップに加え、装置のSyslogを受信しリアルタイムに表示し、監視対象機器の障害原因を、より詳細に絞り込みます。

受信したSyslogにより、障害発生時点のアラームだけでなく、過去に遡っての根本原因の追求や解析が行えます。

また、各種統計情報のしきい値設定により、きめ細かな監視を実現します。アラームヘルプを利用することで、障害原因・対策を的確に把握できます。

アラームが発生時にはクライアントPCに点滅通知し、ダイレクトにNetwork Assistを開くことができますので、迅速に情報を確認できます。もちろん、SNMPトラップ、メール通知も可能です。



柔軟な運用形態

Webブラウザさえあれば、いつでも、どこからでも時間、場所の制約を受けずに自由な監視ができます。単体導入によるネットワーク機器監視専用の小規模システムから、Systemwalker Network ManagerやSystemwalker Centric Managerと連携しての高信頼・超大規模の統合運用監視システムまで、さまざまなお客様のニーズに幅広く対応できます。ネットワークトラブルの一次切り分けから特定の機器にドリルダウンして障害の原因究明が一貫した操作で迅速に行えます。

動作環境(監視サーバ)

Windows版

【OS】

Windows * 2000 Server (SP4以降) / Advanced Server (SP4以降)
Windows * Server 2003, Standard Edition (SP2以降) / R2, Standard Edition (SP2以降)

【必須ソフトウェア】

動作OS付属のWebサーバ(IIS)

Solaris版

【OS】

日本語 Solaris 9、日本語 Solaris 10

【必須ソフトウェア】

Webサーバとして、右記のいずれかの製品が必要です。	Interstage Application Server Enterprise Edition V8 / V9 (注1, 2) Interstage Application Server Standard-J Edition V8 / V9 (注2) Sun Java System Web Server Enterprise Edition 6.0以降 Apache 1.3.x / 2.0.x、Interstage Web Server V9 (注2) Interstage Application Server Web-J Edition V8 (注2)
----------------------------	---

注1 クラスタ環境の場合に必要です。
注2 Interstage HTTP Server(FJSVlms)機能のみをカスタムインストールしてください。

動作環境(監視クライアント)

【OS】

Windows Vista * Business(x86) / Enterprise(x86) / Ultimate(x86)
Windows * XP Professional Service Pack2以降
Windows * 2000 Professional Service Pack4以降

【必須ソフトウェア】

Internet Explorer 6.0 / 7.0以降、Netscape Communicator 6.2x / 7.1

WebブラウザにはJava Plug-inの組み込みが必要です。
Java Plug-in 1.4.2_08以降(1.4.2_14推奨) / 1.5.0_12以降 / 1.6.0_02以降

Cisco製品をきめ細かく管理 CiscoWorks LAN Management Solution

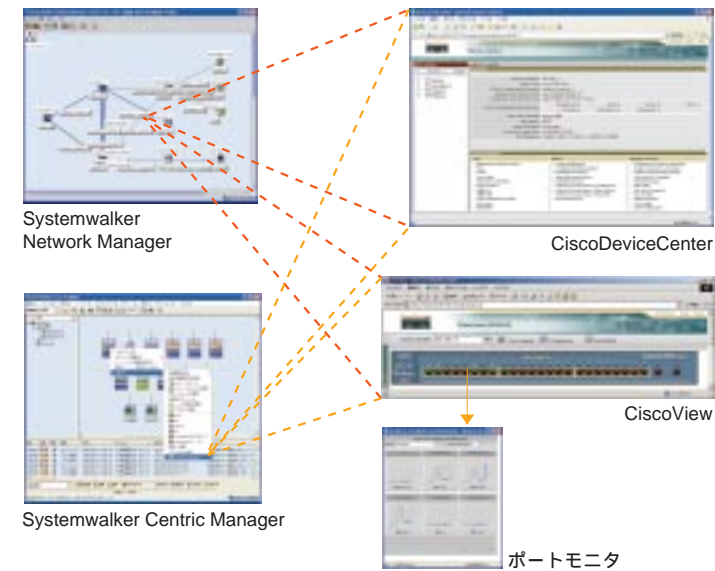
製品情報 : <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/ciscoverks/index.html>

CiscoWorks LAN Management Solutionは、Cisco製品を管理する製品です。Cisco製品(ルータやスイッチ)で構成されたネットワークのトポロジーマップ表示、ATM、VLAN設定など、ネットワーク管理に必要な機能を備えたアプリケーションです。

富士通では、統合運用管理製品Systemwalkerのパートナー製品として、Systemwalker Network Managerや、Systemwalker Centric Managerとの連携ソリューションを提供しています。両製品のスムーズな連携により、ネットワークからCisco製品まで一元的な集中監視が可能となります。

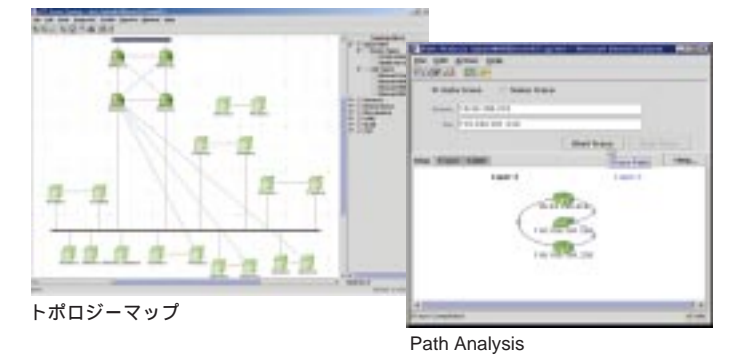
Cisco製品をシームレスに管理

Systemwalker Network Managerや、Systemwalker Centric Managerの監視画面から装置ビューを呼び出し、装置やインターフェースの状態をグラフィカルに把握できます。ネットワークトラブルの一次切り分けから特定のCisco製品にフォーカスした障害の原因究明と対処が、一貫した操作で行えます。



Ciscoスイッチングネットワークの構成管理

Cisco独自のプロトコルであるCDP(Cisco Discovery Protocol)を使用して、VLAN(Virtual LAN)やATMの管理、Cisco製品によるスイッチングネットワークのトポロジーマップを検知しグラフィカルに表示します。また、レイヤー2、レイヤー3のトレース情報を表示することができます。



トポロジーマップ

Path Analysis

Cisco製品の障害監視

Cisco製品やネットワークからのSNMP Trapや定期的なポーリングにより、各装置が保持する性能データや装置自身の状態データを採取します。採取したデータは、閾値と比較して、機器やネットワークの障害分析を行います。分析により診断された障害は、その内容や機器種別などに応じて分類されアラームとして表示されます。

ユーザーの使用スイッチポートを追跡

MAC(メディアアクセス制御)アドレスやIPアドレスから、そのエンドノードが接続されている先のスイッチポートを探し出すことができます。これによって、ユーザーの探索と追跡が効率的に行えます。

動作環境

【OS】

監視サーバ	Windows * Server 2003 Standard / Enterprise Edition SP1 / SP2 (注1, 2) Windows * 2003 R2 Server Standard / Enterprise Edition SP1 / SP2 (注1, 2)
監視クライアント	Windows * Server 2003 Standard / Enterprise Edition SP1 / SP2 Windows * 2003 R2 Server Standard / Enterprise Edition SP1 / SP2 Windows * XP Professional SP2 / Windows * Vista Business
【必須ソフトウェア】	
監視クライアント	Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 / SP2 (注3) Microsoft Internet Explorer 7.0 (注3) / Firefox 2.0 (注3)

注1: OSインストール時にODBCドライバ(3.510以降)を組み込んでください。
注2: Windows * Terminal Servicesを使用する場合、リモートアドミニストレーションモードはサポートしていませんが、アプリケーションモードはサポートしていません。
注3: Java Plug-in 1.5.0_13を使用します。

Cisco製品情報レポート

Cisco製品のハードウェアからIOSソフトウェアなどのインベントリ情報を一元的に収集し、コンフィグレーションの変更履歴やIOSソフトウェアのアップデート履歴をレポート出力します。また、Cisco製品のシスログを収集し、ユーザー定義に従った分類レポート出力ができます。



インベントリ管理

シスログ管理

Cisco製品を集中管理

CiscoWorksからの通知やCisco製品からのアラームは、Systemwalker Centric Managerの監視画面に日本語に変換して表示されるので、内容が容易に把握できます。

Systemwalker Centric Managerとの連携ツールを、Systemwalker技術情報ホームページにて提供しています。

ネットワークサービス管理システム Proactnes / SN V05

IPネットワーク上で提供されるさまざまなネットワークサービス (VPN、FTTH、VoIPなど) の運用管理を強力にサポートする『ネットワークサービス管理システム』です。ネットワークを物理構成ベースで管理することにより、VLANやMPLSといった仮想パスの構成管理、サービスやエンドユーザーごとの運用状況管理、障害影響の把握を可能にします。

Proactnes / SNは、IPネットワークでさまざまなサービスを提供することが必要な通信事業者 / サービスプロバイダー / 社会システムにおけるネットワーク運用管理業務の容易化、効率化および、サービスレベルの向上を実現します。

特長

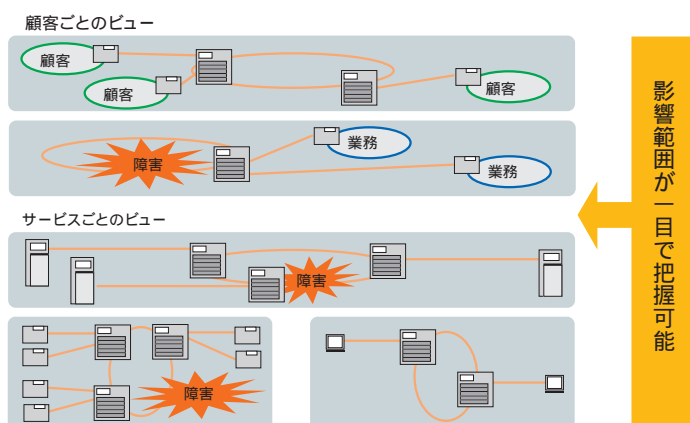
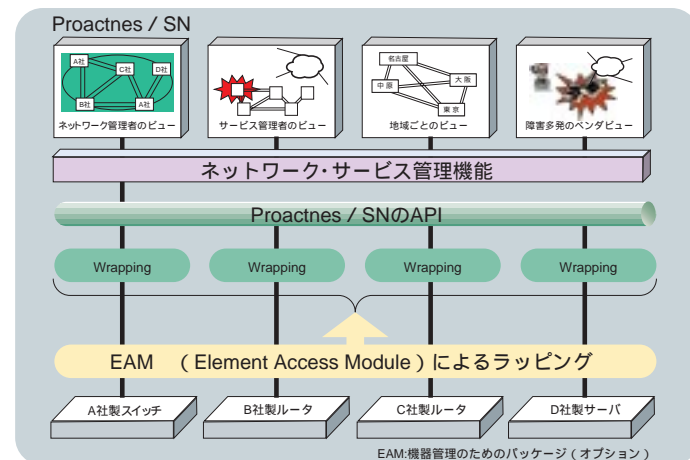
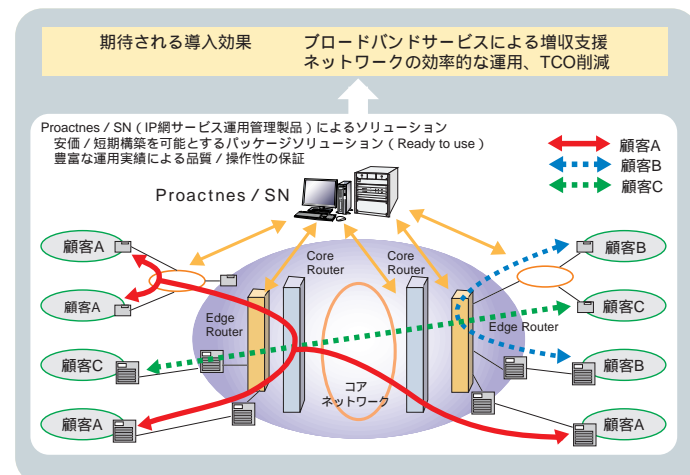
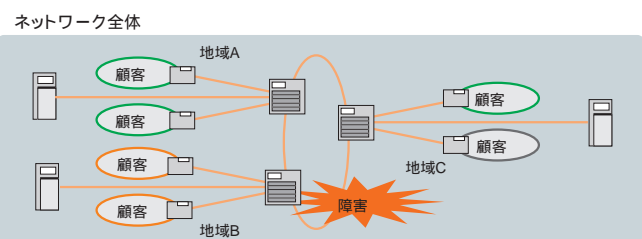
マルチベンダー機器に依存しない共通オペレーションの提供

異なるベンダーの機器はそれぞれ異なるインターフェースを持っています。また、ファームウェアの変更などによりインターフェースに変更が加えられ、同じ機種でも差異が生じることもあります。

Proactnes / SNでは機種と連携して機種ごとの差異部を吸収する仕組み「ラッピング」により、マルチベンダー機器との接続性を確保しています。(約16ベンダー、60機種以上に対応済)

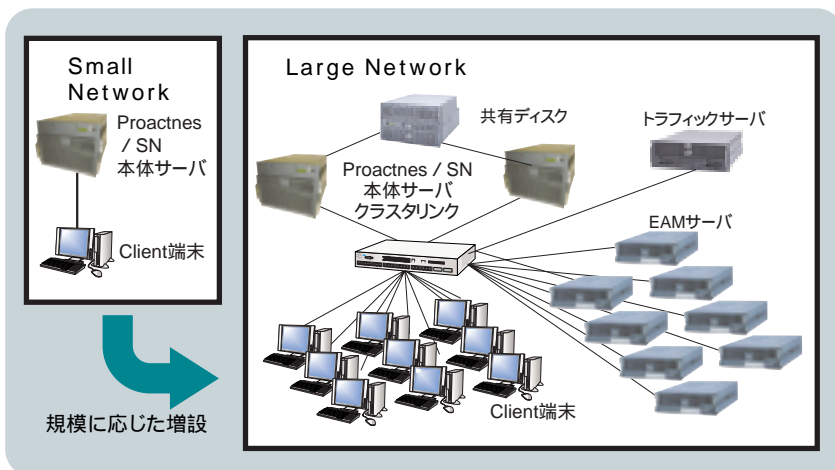
目的別ビューによる管理

顧客ごと、サービスごと、地域ごとなど運用しやすい単位でのビューを定義できます。これにより、運用者はネットワークにおける障害やトラフィックなどの運用状況がどのサービス、どの顧客に影響を与えるかを一目で把握することが可能になります。



容易な機能分散 / 負荷分散対応

ネットワーク規模に応じた段階的な増設を可能とします。サーバの冗長構成化、機能の分散などフレキシブルにサーバを配置することができます。



EAM作成支援オプションの提供 (データ定義型EAM)

ネットワーク機器を管理するためのモジュールです。従来のEAMでは機種ごとに機種別EAMを購入する必要が有りましたが、V05からは本オプションを1つ購入し、各種機の装置データ定義をお客様にて作成することにより、マルチベンダー機器が管理できるため、お客様のコストを軽減します。

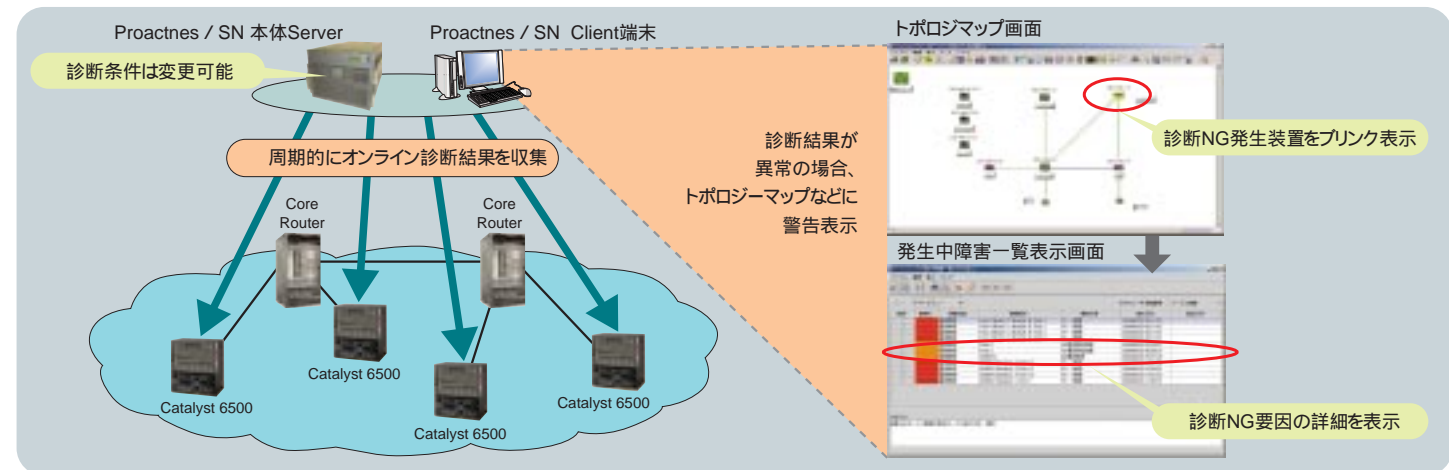
(Element Access Module)
また、従来のEAMとの併用も可能です。
提供機能は右記の4機能です。

予防保全機能の提供

監視対象装置自身が自己診断した結果を周期的に収集し、診断結果をトポロジーマップ画面や発生中障害一覧表示画面に反映することにより、機器障害を事前検出する予防保全を可能とします。
ハードウェアコンポーネントの診断、システムのデータプレーンとコントロールプレーン

- 基本機能 (構成管理機能、障害監視機能)
- VLAN構成管理、VLAN障害管理
- 別途 VLAN-VPN管理オプションが必要です。
- トラフィック管理機能
- 別途トラフィック管理オプションが必要です。
- Ping試験機能
- 別途Ping試験オプションが必要です。

レーンの診断など、今までのTrap・MIBベースの障害監視より一段階上のHigh Availability (HA) 障害監視を実現します。
本機能はシスコ社のスイッチ「Cisco Catalyst6500シリーズ」が提供する「Generic Online Diagnostics (GOLD)」機能に対応しています。



製品構成

ネットワーク管理 基本パッケージ (管理機能 + 基本ライセンス) と、機能追加を行うためのオプションパッケージ (EAM、制御・管理機能) および監視ネットワーク拡張に伴う監視対象追加のための拡張ライセンスで構成されています。

Proactnes / SN V05		ネットワーク管理	
基本パッケージ		基本パッケージ S 1	
オプションパッケージ 2			
EAM作成支援 (データ定義型EAM)	EAM Element Access Module	システム監視	Config 管理
トラフィック管理	サービスグループ管理	Ping 試験	クリアFDB
拡張ライセンス		拡張ライセンス	
ネットワーク管理 拡張ライセンス	トラフィック管理 拡張ライセンス	VLAN - VPN 管理 拡張ライセンス	VLAN mapped MPLS 管理 拡張ライセンス
			クライアントライセンス

1 基本パッケージS1は基本パッケージの機能限定版となります。監視対象エレメントが1000まで、および利用可能なオプションパッケージに制限があります。
2 オプション機能ごとに対象機種が限定される場合があります。また、EAM作成支援オプションもしくは対象機種のEAMを合わせて導入する必要があります。

動作環境 (3)

サーバ	クライアント
<ul style="list-style-type: none"> OS : Solaris™ 8 または Solaris™ 9 4 CPU : SPARC64 V 1.1GHz x 2以上 メモリ : 2GB以上 ディスク : 73GB以上 その他 : 100BASE-TX / 10BASE-Tポート、CD-ROMドライブ、Oracle8i R8.1.7 または Oracle9i R2 5 	<ul style="list-style-type: none"> OS : Windows® 2000 Professional SP3 / Windows® XP Professional SP2 CPU : 1GHz以上 ブラウザ : Microsoft Internet Explorer6.0 SP2 メモリ : 512MB以上 ディスク : 10GB以上 その他 : 100BASE-TX / 10BASE-Tポート、CD-ROMドライブ

3 最小構成の場合に動作可能な値であり、監視対象のネットワーク規模、およびオプションの搭載状況により上記スペックでは動作保証できない場合があります。
4 Solaris™ 9とOracle 8i R8.1.7の組み合わせは動作保証していません。
5 「ネットワーク管理 基本パッケージS with ObjectDirector」では必要ありません。

* Sun, Sun Microsystems, Sunロゴ, Solaris およびすべてのSolarisに関連する商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems Inc.の商標または登録商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。
* その他、使用している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。